

8.【地方からの便り】長崎市「市民防火のつどい」開催ほか〔胆江〕

市民防火のつどい・婦人防火クラブ長崎地区大会の開催

長崎市消防局

平成21年11月19日（木）長崎市公会堂において「第41回市民防火のつどい・平成21年婦人防火クラブ長崎地区大会」を開催し、婦人防火クラブ員や市民など約1,500人が参加しました。

本大会は、火災予防思想の普及と防火意識の高揚を図るとともに、地域における隣保協力体制を強固にし、安全で安心な住みよいまちづくりに寄与することを目的に、長崎市婦人防火クラブ連絡協議会を中心とし、長崎県知事をはじめ県・市の関係者、長崎市消防団及び県下婦人防火クラブ連絡協議会関係者等多数の御出席をいただき開催することができました。



約1,500人の婦防クラブ員や市民などが参加



大手町第3婦人防火クラブの表彰伝達

午前の部では、本年7月6日に安全功労者総務大臣表彰を受賞された大手町第3婦人防火クラブの表彰伝達、会長職を10年、20年及び30年務められた9人の皆さんの表彰、参加者全員による防火宣言及び（財）日本防火協会常務理事 益本圭太郎氏による「婦人防火クラブへの期待」と題した講演が行われ、午後からは幼年消防クラブ員及び婦人防火クラブ員による舞踊やコーラス等のアトラクションが行われました。

アトラクション終了後、長崎市消防局長の音頭で万歳三唱が行われ、「自分たちのまちは自分たちで守る」という固い信念と強い連帯意識の下、盛会のうちに無事終了しました。



幼年消防クラブ員によるアトラクション



婦人防火クラブ員による寸劇

「防火宣言高らかに」 婦人消防のつどいを開催

岩手県 胆江地区幼少年婦人防火委員会

胆江地区幼少年婦人防火委員会では、秋季火災予防週間前の11月7日、サンホテル衣川荘で「胆江地区婦人消防のつどい」を開催しました。管内の婦人消防協力隊員や消防関係者など、約570名が集結しました。



幼年消防クラブ員による「よさこいソーラン」

このつどいは、各地区の婦人消防協力隊員が一堂に会し、会員の防火防災の意識と知識の向上及び会員相互間の親睦を図ることを目的としており、今年度で3回目の開催となりました。

オープニングアトラクションでは、衣里幼稚園幼年消防クラブ員12名による「よさこいソーラン」が披露され、元気いっぱいの園児達の踊りで、つどいが始まりました。

特別講演では、奥州市合併前の衣川村長佐々木秀康氏が、「蟻の飯」と題し講演されました。佐々木氏は、人の行動心理の観点から訓練の大切さを、また、物を大切にす

る気持ちなどを中心に、これまでの体験等を通じて得た教訓をユーモア交え分かり易く話され、一同が大いに共感し大きな拍手が沸きあがりました。

また、住宅用火災警報器の普及推進について、奥州金ヶ崎消防本部予防課長の講演が行われ、住警器の重要性を再確認するとともに、今後さらに設置率を高めるためにはどのような推進活動をしたらよいかを会員相互で考える機会となりました。



佐々木氏による講演「蟻の飯」



地元婦人消防協力会連合会の皆さんによる演舞

つどいの後半では、地元奥州市衣川区婦人消防協力会連合会の皆さんによる演舞が披露され、会場一体となって大いに盛り上がり、最後に、参加者全員により防火宣言が高らかに唱和され幕を閉じました。

このつどいを通じて、婦人消防の地域における役割や、関係機関との協力・連携の重要性を改めて実感することができ、実りの多い大会となりました